

## 麻酔科

研修実施責任者・指導医

東京労災病院麻酔科部長

本多 信雅

### 1 麻酔科研修の目標

麻酔研修を通して、周術期における患者の全身管理の知識と技術の基礎を学び、さらに高度な専門性のある分野への応用へと発展させるための麻酔科医の育成を目指す。

### 2 研修期間

2年間

2年目は希望により心臓麻酔、救命救急等の研修を行う。（研修施設と期間は未定）

### 3 研修内容

一般目標

- (1) 麻酔管理について理解する
- (2) 周術期における鎮痛と安全性について知識と技術を身につける
- (3) 麻酔標榜医、日本麻酔学会認定医、専門医を取得するための研修期間とする

行動目標

- (1) 麻酔科医の麻酔科関連領域における役割について理解する
- (2) 術前評価のポイントについて述べることができる
- (3) 他科からのコンサルトに適切に対応ができる
- (4) 術前得られた情報や術式に従い麻酔計画を立てることができる
- (5) 麻酔計画に従い麻酔を実行できる
- (6) 緊急事態が起きた場合の対処ができる
- (7) 術後鎮痛法の基本原則や方法について理解する
- (8) 重症患者管理について理解する
- (9) プライマリケアについて理解する
- (10) 重症救急患者管理について理解する
- (11) WHO の癌性疼痛治療方針について理解する
- (12) 癌性疼痛管理について理解する

- (13) 術後通を含め急性疼痛管理について理解する
- (14) 手術室を円滑に運営できる
- (15) 医療事故予防対策を立案し実行できる
- (16) 麻酔科関連領域におけるパラメディカル役割を認識し協力して医療を行う
- (17) 麻酔科関連学会にて症例報告または研究結果を発表する